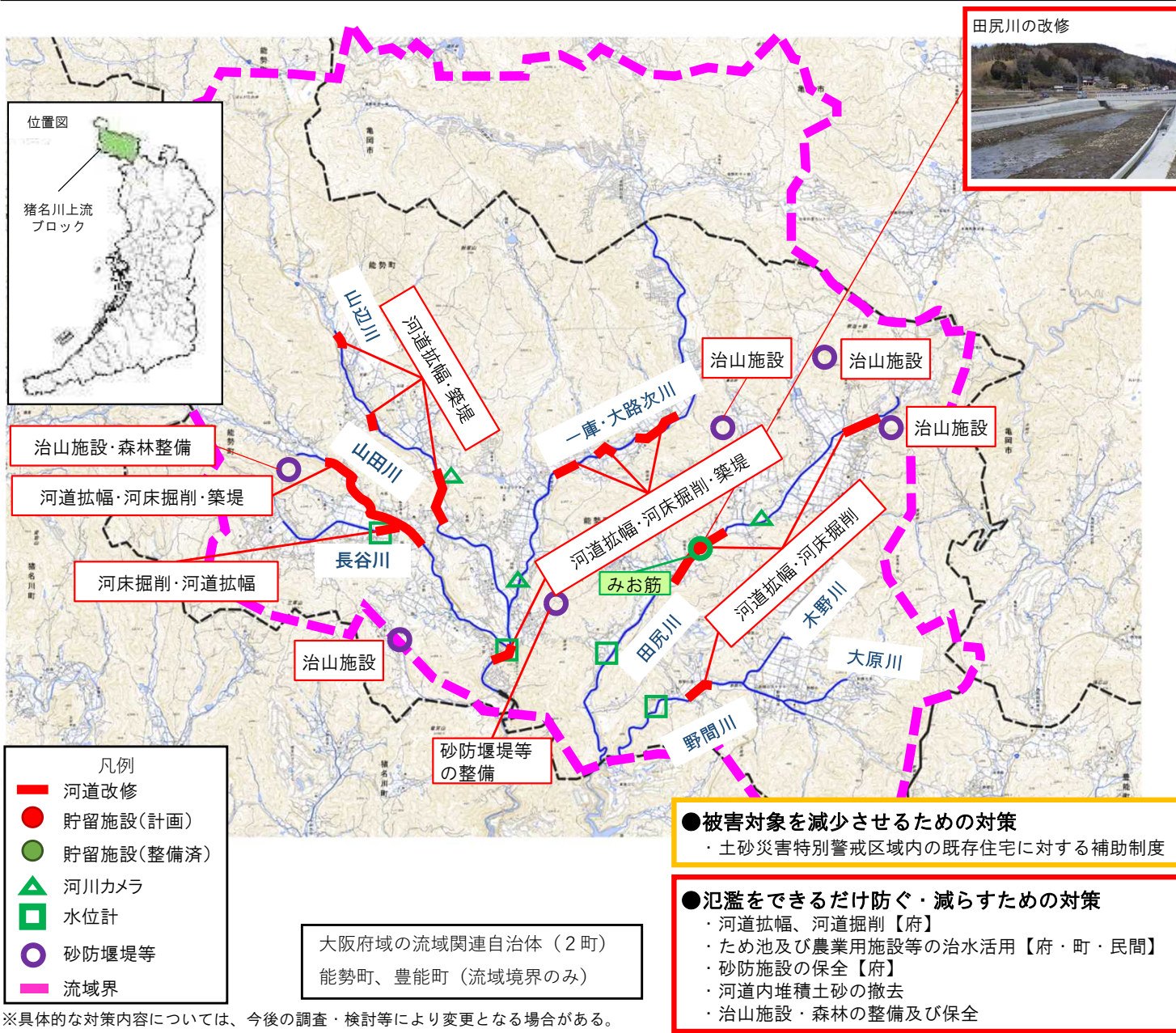


猪名川上流ブロック 流域治水プロジェクト【位置図】

～豊かな自然環境に配慮した流域治水の推進～

○猪名川上流ブロックでは、当面の治水目標に従い、河道拡幅、河床掘削等による洪水対策を実施します。一庫・大路次川、山田川、山辺川、田尻川、野間川では時間雨量65ミリ程度の降雨、長谷川では時間雨量50ミリ程度の降雨による洪水を対象に整備を行います。



●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ①情報伝達、避難計画等に関する事項
- 洪水浸水想定区域の指定拡大【府】
 - 想定最大規模の雨水出水に係る浸水想定区域図等の作成と周知【府・市町】
 - 基礎調査の実施と公表と土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域の指定【府】
 - ホットラインの運用(洪水・土砂)【府、町、気象台】
 - 避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認(広域タイムライン)(洪水)【府・町・民間】
 - 避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認(市域・町域タイムライン)(洪水・土砂)【町】
 - 避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認(コミュニティタイムライン)(洪水・土砂)【町】
 - ICTを活用した洪水情報の提供【府・気象台】
 - 防災施設の機能に関する情報提供の充実【府】
 - 隣接市町村における避難場所の設定(広域避難体制の構築)等【町】
 - 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施(洪水・土砂災害)【町】
 - 応急的な退避場所の確保【町】
 - 重要水防箇所の見直し及び水防資器材の確認【府、町】
 - 市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実【町】
 - 排水施設、排水資機材の運用方法の改善【町】
 - 浸水被害軽減地区の指定【町】
 - 重要インフラの機能確保【町】
 - 樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保【町】
 - 施設管理の高度化の検討【府】
- ②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項等
- 水害ハザードマップの改良、周知、活用(洪水・土砂)【国、府、町】
 - 浸水実績等の周知【府、町】
 - 水害の記録の整理【府、町】
 - 災害リスクの現地表示【町】
 - 防災教育の推進【府、町】
 - 共助の仕組みの強化、地域防災力の向上のための人材育成【府・町】
 - 住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進【府、町】
 - 水防訓練の充実【府・町】

●グリーンインフラの取組み

- 小中学校などにおける河川環境学習等【府、町】
- みお筋等を工夫した整備【府】

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

猪名川上流ブロック 流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～豊かな自然環境に配慮した流域治水の推進～

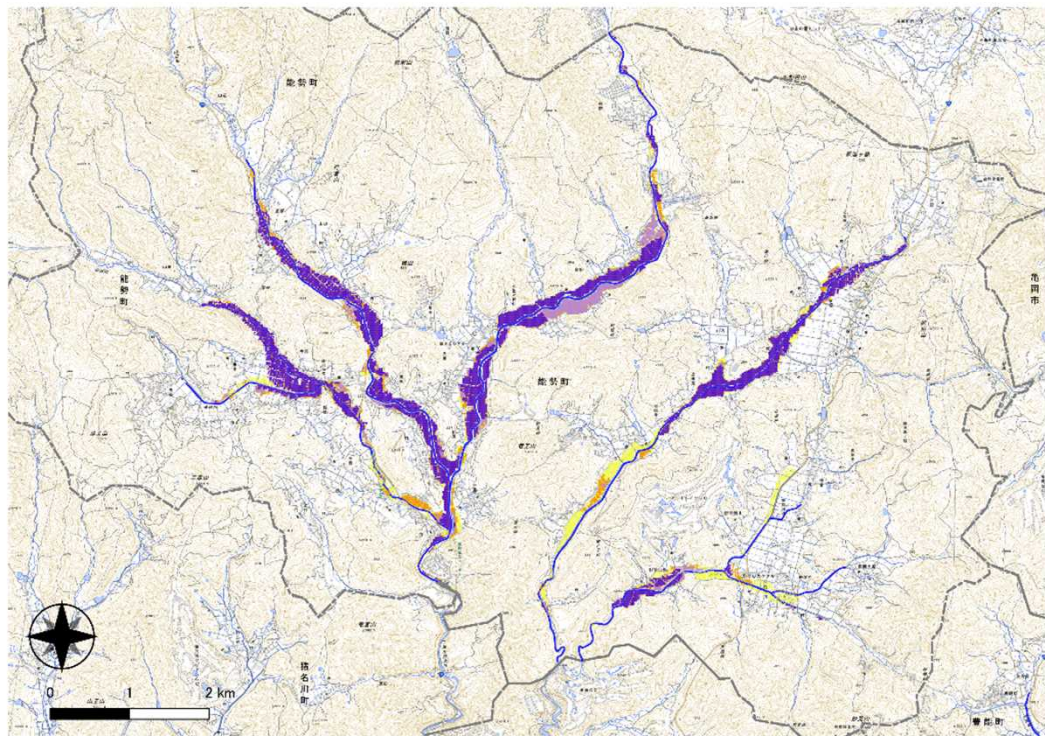
- 猪名川上流ブロックでは、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、府・町が一体となって、「流域治水」を推進する。
- 【短期】 住宅密集地での重大災害の発生を未然に防ぐため、河道改修に着手。
 - 【中期】 河道改修の推進。
 - 【中長期】 時間雨量50ミリ程度の降雨に対し家屋浸水を防ぎ、かつ時間雨量65ミリ程度の降雨に対し家屋床上浸水を発生させない対策を完了。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	山辺川の河道拡幅・築堤	大阪府			
	山田川の河道拡幅・河床掘削・築堤	大阪府			
	長谷川の河床掘削・河道拡幅	大阪府			
	一庫・大路次川の河道拡幅・河床掘削・築堤	大阪府			
	田尻川の河道拡幅・河床掘削	大阪府			
	野間川の河道拡幅・河床掘削	大阪府			
	ため池の治水活用	大阪府・能勢町・民間			
	砂防施設の保全	大阪府			
	河道内の堆積土砂撤去	大阪府			
	治山施設・森林整備（長谷川）	大阪府			
			定期点検による継続監視及び状況により適宜実施		
			R6年度より森林環境税を活用した、森林区域での流域治水対策を実施		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度	大阪府・能勢町			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	①情報伝達、避難計画等に関する事項 ・洪水浸水想定区域の指定拡大 ・雨水出水浸水想定区域の指定 ・市町村、地域タイムラインの策定 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成 ・防災気象情報の改善 等	大阪府・能勢町・気象台			
	②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項 ・ハザードマップの改良・周知・活用 ・マイタイムラインの策定 等	大阪府・能勢町			
グリーンインフラの取組み	河川環境学習・水環境パネル展の開催 等	大阪府・能勢町			
	みお筋等を工夫した整備	大阪府			

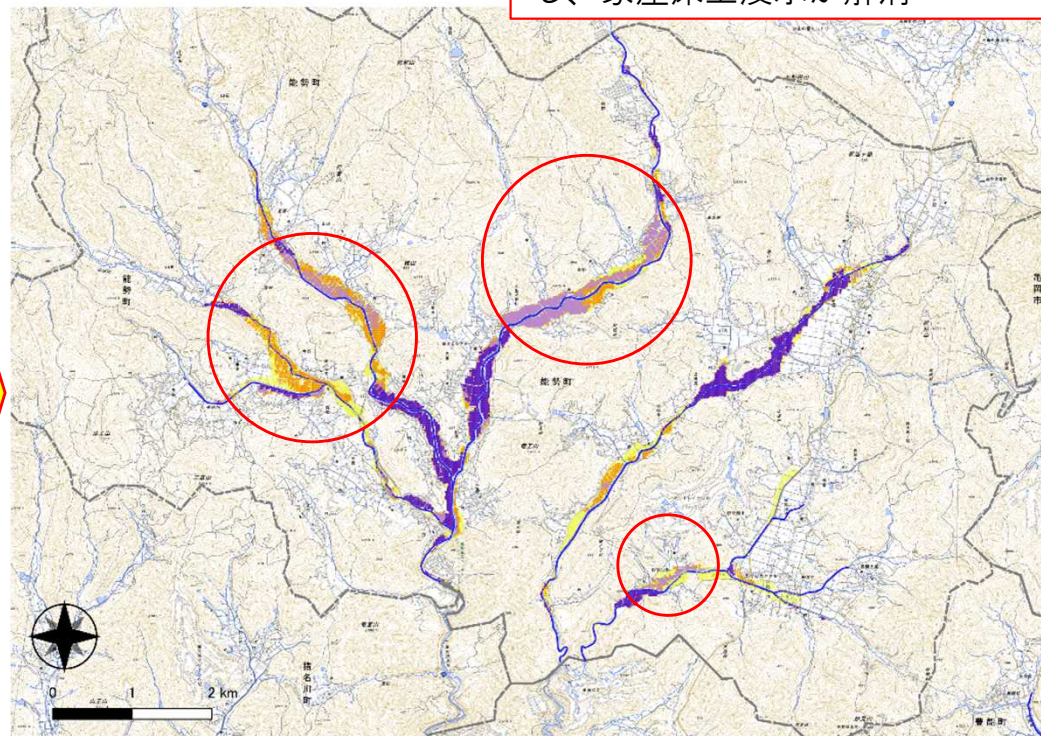
河川整備等による効果

河川改修を推進することにより、
田尻川、一庫・大路次川、山田川、長谷川、山辺川、野間川
：時間雨量65ミリ程度（1/30）の降雨に対し、家屋床上浸水が解消

現状



整備後



時間雨量65ミリ程度の降雨に対し、家屋床上浸水が解消

高頻度（1/10）	■
中頻度（1/30）	■
低頻度（1/100）	■
想定最大規模	■

※この図は、1/10、1/30、1/100の確率年及び想定最大規模の降雨により想定される、府管理河川の外水氾濫の浸水範囲である。

※「現状」の図は、氾濫シミュレーション時点（R2）の施設整備状況において想定される浸水範囲を示したものである。

※「整備後」の図は、河川整備計画の整備メニュー実施後において想定される浸水範囲を示したものである。なお想定最大規模については、施設整備の効果を考慮していない。

当面の治水目標に対応
した河川の整備



整備率：5.4%

(令和6年度末時点)

農地・農業用施設
の活用



0町

(令和6年度末時点)

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等
0施設

(令和6年度末時点)

山地の保水機能向上
および
土砂流木災害対策



治山対策 3箇所
土石流対策 3施設

(令和6年度実施)

立地適正化計画に
おける防災指針の作成



0町

(令和6年度末時点)

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水
想定区域 8河川

雨水出水
浸水想定区域 0団体

(令和6年度末時点)

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画 洪水 1施設
土砂 11施設

避難訓練 1施設

(令和6年度末時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

田尻川の改修

藤木橋～唐木橋の区間および岡花橋上下流の区間で時間雨量65ミリ程度の降雨による洪水を対象に河道拡幅等の整備を進めています。



被害対象を減少させるための対策

土砂災害特別警戒区域内の家屋移転に対する助成制度の実施

能勢町では土砂災害特別警戒区域内の家屋移転を促すため、住宅の撤去（除却）や移転にかかる費用の助成制度を設けています。



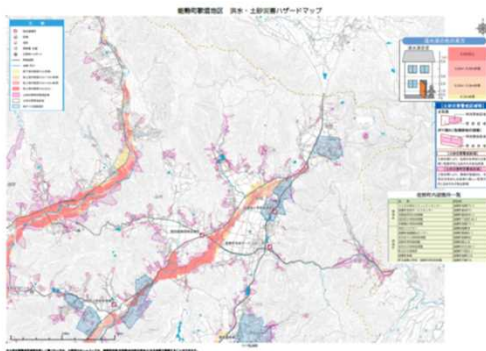
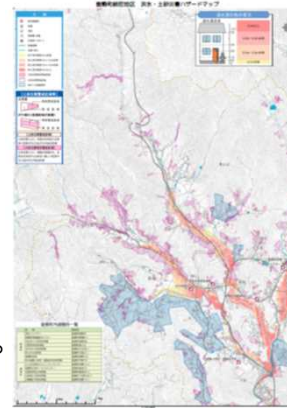
土砂災害特別警戒区域内の住宅の移転・補強について支援します。



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

風水害ハザードマップの更新

能勢町では令和3年度に風水害のハザードマップを更新し、想定最大降雨により浸水が想定される範囲を掲載しています。（町HP）



グリーンインフラの取り組み

みお筋等を工夫した整備

田尻川沿川は水田利用が多く民家が点在しており、全体的にのどかな田園風景となっています。また河道には瀬淵が形成されていることや水際には多くの植生もみられるなど豊かな自然環境となっていることから河川改修時にみお筋の復元に努めています。

